

Vol.44
平成31(2019)年2月

いちのみやし男女共同参画情報紙

いーぶん

素敵なパートナーになるために



特集

「平成」

いーぶん編集委員が

男女共同参画の視点で30年を振り返る

30年間慣れ親しんだ「平成」の元号。今回の「いーぶん」では、男女共同参画の視点から編集委員がその30年を「政治」「スポーツ」等さまざまな分野で振り返ります。

どんな元号で新しい時代がスタートするのか、楽しみです！

「平成」

いーぶん編集委員が30年を振り返る

「平成」スタート
1989年1月8日



同年7月

「昭和の歌姫」
美空ひばりさん
女性初の国民栄誉賞を受賞



同年7月

参院選・与野党の議席逆転

土井たか子氏
女性初の衆議院議長に!



山が動いた

おたかさん!

この年の参議院選挙(第15回)で
参議院での女性議員の比率が
13.1%となり、初の2ケタに!

1994(平成6)年

日本人女性初の宇宙飛行士が誕生

1992(平成4)年4月

育児休業法施行



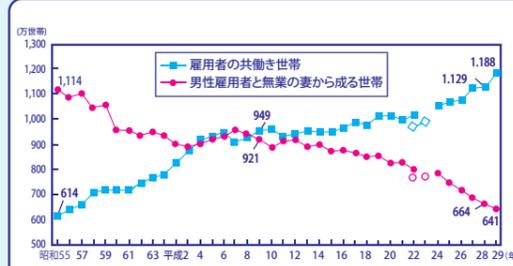
編集委員A

1999(平成11)年4月

「保母」「保父」が「保育士」に

1997(平成9)年

専業主婦世帯数と共働き世帯数が逆転



1999(平成11)年6月

男女共同参画社会を実現するため
「男女共同参画社会基本法」
が制定される

2000(平成12)年3月

「いちのみやし
男女共同参画計画」を策定

「男女共同参画」という言葉は、この頃(平成11年)から使われるようになったのね



編集委員B

2001(平成13)年3月

いちのみやし
男女共同参画情報紙
「いーぶん」創刊



2011(平成23)年7月

FIFA女子ワールドカップで
なでしこジャパンが優勝!



2011(平成23)年3月

「男女がともに個性と能力を
発揮できる社会づくり」を
基本理念に
「第2次一宮市男女
共同参画計画」を策定



2005(平成17)年4月

市が男性保育士を採用



2008(平成20)年3月

「第6次一宮市総合計画」の
めざすべき姿の1つとして、
「男女共同参画の推進」を掲げる

2009(平成21)年4月

市が女性消防士を採用

2004(平成16)年11月

5,000円紙幣(日本銀行券)の
肖像画に女性で初めて
樋口一葉が選ばれる



2004(平成16)年8月

アテネオリンピック

チヨー気持ちいい!



2002(平成14)年3月

「看護婦」を「看護師」と
呼ぶように(名称の統一)



今では女性選手がオリンピックで大活躍。
でも、1896年に第1回オリンピックがアテネで
開催された時は、女性の参加種目は1つも
なかったのよね。

2012(平成24)年夏

ロンドンオリンピック
ボクシングに女子種目が増え、
全競技で女性の参加が可能に



2018(平成30)年9月

「平成の歌姫」
安室奈美恵さん引退



平成の時代では、それまで社会に浸透して
いた「男性らしく」「女性らしく」といった
性別にとらわれた考え方に少しずつ変化が
あらわれてきたね!

新しい時代のキーワードは、最近よく耳
にする「多様性」じゃないかな?
「人」も「働き方」も「価値感」も、違いを
認め合う社会に向けて一歩ずつ前進
しなきゃね!



編集委員A

編集委員D

2019(平成31)年

「第3次一宮市男女共同
参画計画」を策定(予定)



未来に向かって前進!



いーぶん一家

事業所向け男女共同参画出前講座をご活用ください！

平成30年9月27日(木) 一宮警察署の研修会に講師を派遣しました！

当日は、伊藤亜貴子さん(A&N合同会社代表)を講師にお招きし、「ワーク・ライフ・バランス～仕事と私生活のバランス 相互の関係～」をテーマに65名が聴講しました。

「ワーク・ライフ・バランスとは」、「働き方改革に取り組む必要性とメリット」、「ワーク・ライフ・バランスの成果」等について具体的な事例を挙げながら話をされ、少子高齢化等の社会的な変化に対応できるよう働き方に工夫をし、新しい組織に変化していくことの大切さを学びました。



参加者の声(終了後アンケートから)

- ・ワーク・ライフ・バランスに関する認識が深まりました。(30代・男性)
- ・若い人たちは家庭と仕事を両立する気持ちが強いということを知りました。(20代・男性)
- ・自分の人生を充実させるために、漫然と生活するだけでなく、一歩前に進むことが重要であり、考え方を変えていくべきだと思いました。(30代・男性)

市では事業所等が企画・実施する、ワーク・ライフ・バランスに関する講座や研修会に講師を無料で派遣しています。(講座開催には15人以上の参加者が必要です。)

詳しくは、政策課までお気軽にお問合せください。政策課のウェブサイトでもご案内しています。

DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談窓口～ひとりで悩まないで～

配偶者や恋人からの暴力で悩んでいませんか?ひとりで悩まず、困ったときには次の窓口をご利用ください。

●一宮市(女性悩みごと相談)

先着受付順(予約なし)。電話相談も可能(混雑時は来所の方優先)

0586-28-9149 本庁舎2階 こども家庭相談室

相談時間: 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～4時30分、土・日曜日、祝日、年末年始は休み

●愛知県女性相談センター 詳しくは愛知県のウェブサイトをご覧ください。

※電話相談 専用ダイヤル 052-962-2527

相談時間: 月～金曜日 午前9時～午後9時、土・日曜日 午前9時～午後4時、祝日、年末年始は休み
(平成30年度は3/18(月曜日)は休みになります。)

※面接相談(予約制)

電話相談の後、必要に応じて女性相談員が行います。

相談時間: 火～日曜日 午前9時～午後5時(水曜日は午後8時30分まで)、月曜日、祝日、年末年始は休み

●内閣府男女共同参画局(DV相談ナビ)

0570-0-55210(全国共通) お近くの相談窓口で電話が自動転送され、直接ご相談いただけます。

※ご相談は、各相談窓口の相談受付時間内に限られます。

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。

『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美

編集・発行/一宮市総合政策部政策課

〒491-8501 一宮市本町 2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

*政策課のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。